

静岡海岸堤防だより『防ぐ！』

第7号
令和元年6月発行

◇静岡海岸の堤防嵩上げ工事を進めています◇

平成27年度に海岸堤防嵩上げ工事に着手し、平成31年3月までに758mの堤防嵩上げが完了しました。昨年度から施工している区間②110mの工事も夏までに完了する予定です。引き続き、本年度は約320mの工事を行う予定です。

場所	延長(m)	説明
①	758	平成31年3月迄に完成
②	110	令和元年夏までに完成
③	320	令和元年度施工予定
④		今後施工予定



◇静岡県建設業協会「建設もの創り大賞」で優良賞◇



※1【レベル1の地震・津波】

発生頻度が比較的高い(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
【レベル2の地震・津波】

南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

一般社団法人静岡県建設業協会による「第35回建設もの創り大賞」が平成31年3月に発表され、静岡海岸堤防嵩上工事が優良賞を受賞しました。住宅地側法面のコンクリート部を現場で打つ工法から、コンクリート製品を使用する工法へ変更したことにより、工期短縮、品質の向上、施工の安全性が向上し、高評価を受けました。

◇静岡海岸の砂浜が順調に回復しています◇

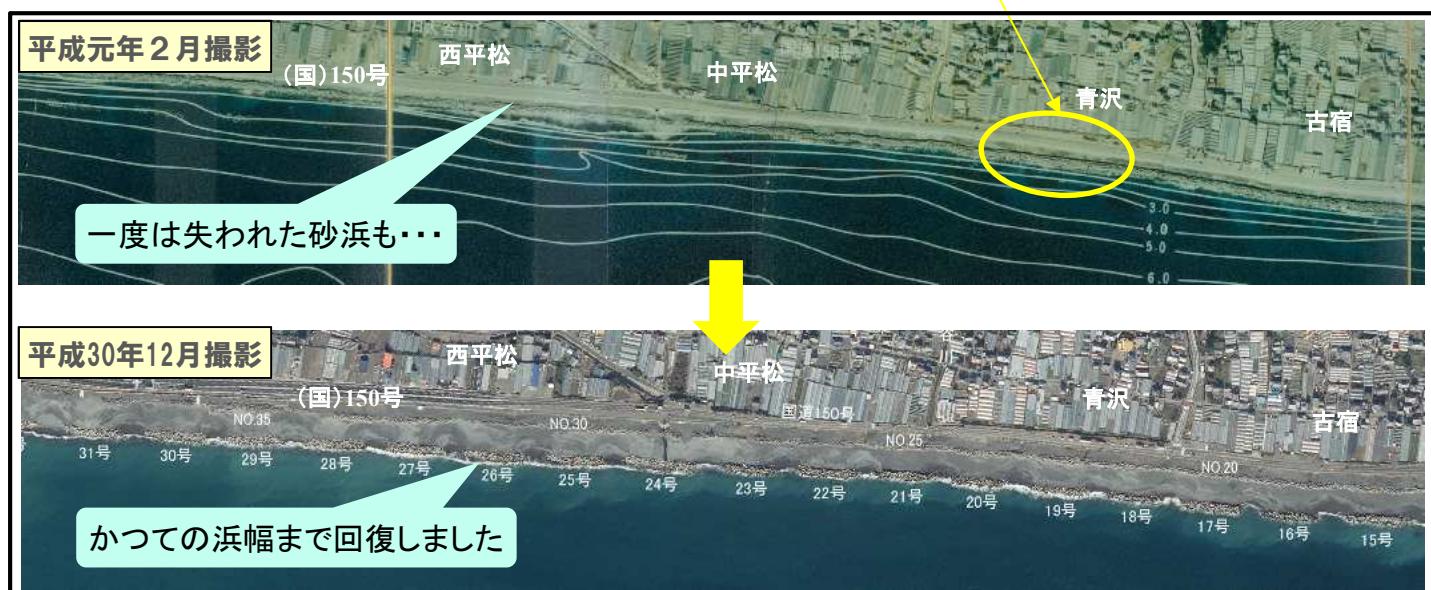
昭和40年代、安倍川からの土砂供給量の減少に伴い、安倍川河口付近から海岸侵食が始まりました。海岸侵食は年々東側へ拡大し、昭和50年代には毎年のように護岸や国道150号が決壊する被害が発生しました。

県は、海岸堤防や道路の復旧工事を進めるとともに、背後地の安全を守るため、離岸堤設置などの海岸侵食対策を行い、現在では、清水区境付近まで砂浜が回復してきました。

砂浜には波のエネルギーを減衰させる効果もあります。



昭和56年10月 青沢地先 波浪による国道150号被災状況



静岡県静岡土木事務所
問合せ先:工事第1課
(TEL 054-286-9331)



New Public Engineering for SHIZUOKA
いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部